

DCX CONNECTOR

ブースター・TREC専用

この度は弊社製品<DCXコネクタ>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品はブースターをワンタッチ装着する為の専用カプラーです。本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。

お願い! 本製品は性能向上他の理由により、頻繁に取り扱い説明書の変更をおこなっております。お手元の取り付け説明書のVol番号が最新でない場合はご面倒でも当社ホームページ上の取り付け説明書を参考に取付け、調整をおこなって下さい。

警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 運転者は、走行中に本製品を操作しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となってしまいます。
- 本体は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。

注意 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

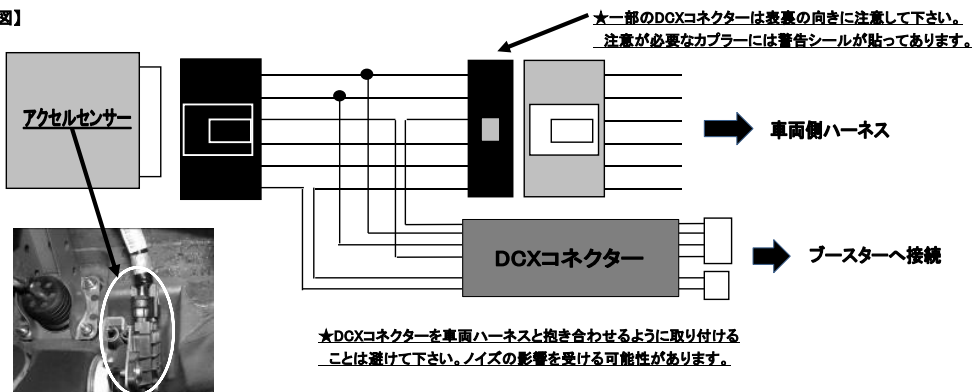
- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 本製品およびハーネスを高温部もしくは水のかかる場所に設置することは絶対に避けて下さい。また製品を落としたり、衝撃を与えたりすると故障の原因になります。
- 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

【取り付け上の注意】 アクセルセンサーは下記品番の製品を除き、車内にあります。エンジンルーム内の同形状のコネクタに接続した場合誤作動します。

★エンジンルーム接続の品番 DCX-F2, DCX-T2, DCX-T3

- 注意!**
- ハーネス類を車両ハーネスと一緒に束ねることは避けて下さい。ノイズ等による機器誤作動の危険があります。また運転の障害にならぬようまとめて下さい。
 - 取り付け作業はキースイッチを抜いてから1~15分間はおこなわないで下さい。(完全に電源がOFFになるまで)
 - キースイッチを抜いても数分間電源がOFFにならない車両がある為(ホンダ車、輸入車は時間がかります)
 - 電源がOFFにならない状態で作業をおこなった場合は車両ECUが『エラー認識』してしまうことがあります。
 - 取り付け作業はバッテリーをはずさずにおこなって下さい→バッテリーをはずした場合は(アイドリング学習)が必要な場合があります。
 - 電子スロットル制御に関わる部分です。接続位置、接触には慎重に作業をおこなって下さい。
 - 接触不良等がある場合、正常にエンジンが吹けあがらない、エンジンチェック点灯等の状況が出てしまいます。この場合専用の機器しかエンジンチェックの点灯は消せないことがあります。十分注意して作業をおこなって下さい。

【接続図】

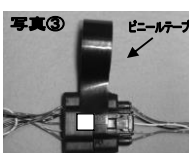
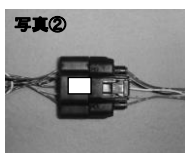
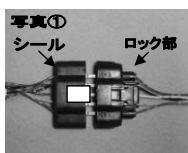


【アクセラセンサーへの取り付け方法】

※DCX-A1, L2, M1, N1, Q1は別項参照

- ①アクセラペダル根元にあるアクセラセンサーのカプラーを抜いて下さい。
- ②車両側カプラーにDCXコネクタを確実に差し込んで下さい。

- 注意**
- オス側がゴムになっているカプラーは上下の向きがあります。(写真①、②)、車両カプラーのロック側とゴムカプラーの黄色シール側を合わせ装着して下さい。
 - オス側がゴム製カプラーは、装着後必ずテーピングにて固定して下さい。(写真③)
 - 上下間違えるとセンサー破損の可能性があります。間違えないように慎重に作業をおこなって下さい。

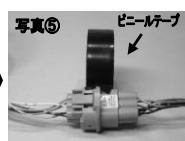


- DCX-P1を車両装着する場合、オス側(ゴム側)接続の際は下記注意事項を確認のうえ作業をおこなって下さい。(写真④)
 - オス端子は下記写真の細い穴に差込みます。差し込み位置を間違えると、ピン破損の恐れがあります。慎重に作業をおこなって下さい。

【アクセラセンサーへの取り付け方法 DCX-A1】

- ①アクセラペダル根元にあるアクセラセンサーのカプラーを抜いて下さい。
- ②車両側カプラーの防水ゴムを必ず外してしてください。(写真①②)

- 注意**
- 防水ゴムを外さないで装着しますと、接触不良もしくは警告灯が点灯いたしますのでご注意ください
 - ③抜いたカプラーにDCX-A1を確実に割り込ませて下さい。
 - ④DCX-A1はカプラーの上下がわかりづらい構造になっていますご注意ください。
 - カプラーに貼ってある黄色シールを目安に確実に装着して下さい。
 - DCX-A1は特殊形状の為、ロック部分が完全にかみ合いません。(写真③)
 - DCX-A1を装着した状態の寸法は47mm~48mmになります。(写真④)
 - ⑤装着後必ずテーピングにて固定して下さい。(写真⑤)



【アクセルセンサーへの取り付け方法 DCX-L2】

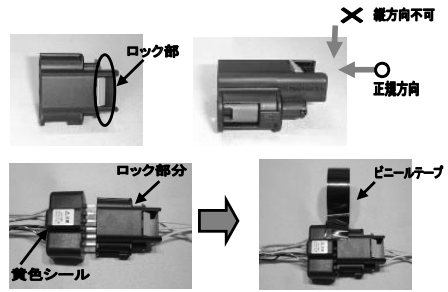
＜車両カブラーの取り外し方法＞

- 無理やり車両カブラーを抜こうとすると車両カブラーが破損します
- カブラーのロック部は横方向にスライドさせる構造になっています。

- !** **注意** ●マイナスドライバー等にて正規方向に押すことによりロックがはずれ、カブラーがはずれます。(右写真参照)
- 縦方向の力を加えるとロック部が折れます！
 - 正規方向 ×→絶対にこの方向(縦方向)へは力を加えない

＜DCXコネクターの装着方法＞

- GOLF6他、カブラー形状が多少違うカブラーにも問題なく装着出来ます。
- 黄色シールが貼ってある部分と車両コネクターの**ロック部分**を合わせて接続して下さい。
- 接続後に必ずテーピングして下さい。



【アクセルセンサーへの取り付け方法 DCX-M1, N1】

＜アクセルセンサーの取り外し方法 DCX-M1＞

- アクセルセンサーカバーを下記方法によりはずし、アクセルセンサーを確認して下さい。

＜主に低年式車に装着されているセンサー＞



- アクセルセンサーカバーの左横の溝にマイナスドライバーを差し込み、ドライバーをやや下に降ろします。この状態でアクセルセンサー全体をすこしずつ左へ移動させるとアクセルセンサーカバーが床よりはずれ、カブラーが出てきます。
- ※差し込むドライバーは、先端が幅5mmのマイナスドライバーを使用して下さい。
- ※穴の中心へまっすぐに差し込んで下さい。

＜DCXコネクターの装着方法 DCX-M1,N1＞

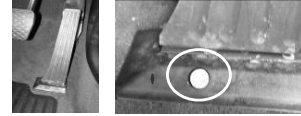
- 右図を参考に、オスカブラーの突起部分とメスカブラーのクボミ部分を合わせてカブラーを確実に装着して下さい。
- !** **注意** ●メス側のカブラーは加工制作しております。バリ等にてカブラーが挿入しづらい場合は、カッター等にてカブラーの修正をおこなってから装着して下さい。

【アクセルセンサーへの取り付け方法 DCX-Q1】

- ①アクセルペダル根元にあるアクセルセンサーのカブラーを抜いて下さい。
→カブラー横の赤いロック部分を細いマイナスドライバーにて横に移動させて下さい。
- ②抜いたカブラーに専用カブラーを確実に差し込んで下さい。
●ゴム側はカブラーに張ってある注意シールと赤いロック部分を同一方向にし、装着して下さい。
- ③装着後必ずテーピングにて固定して下さい。

※アクセルセンサーは2種類ありますので車両を見て判断して下さい。

＜主に高年式車に装着されているセンサー＞



- アクセルペダルの根元の丸カブラーをはずし、六角ボルトをはずし、アクセルペダルを上方向に移動させます。
- 移動させるとアクセルセンサーカバーが床よりはずれ、カブラーが出てきます。

